

## 官民対話検討事案概要書

項目	記入欄
1. 団体名	北九州市
2. 事業名	新門司マリーナ浮桟橋改修事業
・事業内容 ※事業の内容をご記入下さい	<p>新門司マリーナは、海洋レクリエーション需要の高まりを受け、マリンスポーツの振興等を目的として整備された公共マリーナである。現在、市の第三セクターである北九州埠頭㈱に対し、港湾施設（浮桟橋、ボートヤード等）を目的外使用許可し、同社が当該施設を利用して、マリーナとして運営している。</p> <p>供用開始後 30 年を経過し、浮桟橋の老朽化や近年増加傾向にある大型艇を受け入れができない等の課題があり、浮桟橋の改修を行う必要がある。</p> <p>ついては、改修費用の縮減、平準化を図るため、民間事業者の参画や民営化等について検討するもの。</p> <p>併せて、既存建物や周辺敷地等を活用した飲食店や売店等の便益施設の設置に係る民間事業者の参画について検討するもの。</p>
・事業実施で重視する点	民間事業者の参画による費用の削減、平準化、サービスの質の向上
・事業の種類 ※該当する番号に○(複数可)	1. 新設                  2. 建替え                  3. 改修                  4. 管理運営のみ 5. 公有地活用                  6. 包括委託 7. その他（                                  ）
・施設等の用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボート、ヨット等の係留</li> <li>・艇体・エンジンのメンテナンス等のサービス提供 など</li> </ul>
3. サウンディングの目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業手法の検討</li> <li>・民間事業者参画の可能性の検討</li> <li>・市場性の有無の検討（便益施設の設置）</li> <li>・その他課題の把握</li> </ul>
4. 事業対象地の概要	
① 所在地(交通情報含む)	北九州市新門司北二丁目 1 番地
② 敷地面積	水域：5．2 h a、陸域：2．7 h a
③ 土地利用上の制約	港湾計画で土地利用区分が定められている (マリーナ関連施設用地)
④ 所有者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市：浮桟橋、ボートヤード、クレーン等</li> <li>・北九州埠頭㈱：クラブハウス</li> <li>・ササキコーポレーション：修理工場、給油施設</li> <li>・㈱千草：チャペル（H27 から営業停止）</li> </ul>
⑤ 周辺施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新門司球技場（ギラヴァンツ北九州）</li> <li>・フェリー発着所（神戸、大阪、徳島、東京等）</li> <li>・物流関係企業の倉庫 など</li> </ul>

⑥ 対象地周辺の一般的なイメージ	・企業向け分譲地	
⑦ その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 施設名称		
② 施設の延床面積		
③ 建物の構成(構造、階数)		
④ 主な施設の内容、導入機能		
⑤ 運営状況 (運営主体、事業手法等)		
⑥ その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
① 施設名称	・浮棧橋 (3基)	・同左
② 規模、能力 等	海上保管 : 82 隻 (小・中型艇) 陸上保管 : 220 隻 合計 302 隻	・浮棧橋を延長し、大型艇も 係留できるようにする
③ 運営状況 (運営主体、事業手法等)	・北九州埠頭(株)に対し目的外使用許可、同社が管理運営を行う	・民間事業者による資金調達、改修、管理運営
④ その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
6. 事業環境		
① 人口、高齢化率	9 4 万人、3 1 % (令和3年年9月1日時点)	
② 対象地周辺の人口構成	門司区 9 万 5 千人、高齢化率3 7 %	
③ 市民意見等	－	
7. 事業関連		
① 現状及び課題	・艇置契約は横ばい状態 ・施設が古く、近年増加している大型艇が係留できない	
② 目的、考え方・基本方針	利用者のニーズに合った施設の整備、サービスの提供	
③ 前提条件	外部環境 (利用者ニーズ) に大きな変化がないこと	
④ 事業スケジュール(案)	令和3年度 : 調査、設計	

